

## 女子78kg級

### 準決勝戦第1試合

3 柴野 亜希

(北関東総合警備保障)

崩袈裟固

3 鳥谷部 真弓

(帝京大学柔道クラブ)

一昨年の覇者鳥谷部、ここまでオール一本勝で勝ち進むが、柴野に分が悪く、2分44秒に払腰で有効を奪われ、そのまま崩袈裟固に抑え込まれる。柴野、決勝戦初進出を果たす。

### 準決勝戦第2試合

3 穴井 さやか

(ミキハウス)

優勢勝

⊖ 3 池田 ひとみ

(自衛隊体育学校)

本大会初出場、長身の穴井は奥襟を握って盛んに内股を仕掛ける。対して身長で20cm近く劣る池田は、組み負けせず左組みから一本背負投、体落で応じる。こうした展開が続く1分22秒、穴井の内股を池田が鮮やかな内股すかして切って取り、技ありを奪う。その後、穴井の猛反撃が開始されるが、池田は何とか捌いてブザーが鳴る。池田、強敵穴井を破って決勝戦へ駒を進める。

### 決勝戦

3 柴野 亜希

(北関東総合警備保障)

優勢勝

⊖ 3 池田 ひとみ

(自衛隊体育学校)

柴野右組み、池田左のケンカ組手。上背で劣る池田は積極的に前に出て、背負投、体落で攻める。守る柴野に32秒、指導1。その後、柴野が内股、大外刈で攻めるが、間合いが届かず。池田も左組みから右一本背負投で攻めるが、今ひとつ決め手に欠ける。終盤までこうした攻防が続いたが、残り12秒に池田が体を沈めて、柴野の懐に潜り込むような低い体落で柴野を前に転がして有効を奪い、そのまま時間。池田は嬉しい初優勝。